

□議員名：中村 博行

1 厚陽地区の活性化について

論点	厚陽地区の人口減少、特に少子高齢化対策についての考えを問う。
回答	現在、市では協創の考え方をまとめた協創指針の策定に取り組んでおり、住民と行政が各地域の諸課題について共有し、課題解決のための取組を進める仕組みづくりを考えている。厚陽地区においても同様に協創指針に基づき、地域課題解決に向けて取り組んでいく。

論点	厚陽小・中学校の施設一体型小・中一貫校としての魅力発信の努力をこれまでどのようにされ、今後どのようにされるのか問う。
回答	県内初の施設一体型小中連携校として、小中合同行事の開催や異学年交流の充実を図った学習など小中連携カリキュラムの魅力発信をホームページ等から発信してきた。今後もこれまでの取組を大切にし、子供たちを育てる環境づくりをさらに進める。

論点	学校北側の農地について、農振地域指定除外の要望があるが、その対応への考えを問う。現地の状況から住宅政策への転換はどうか。
回答	現在、農業振興地域整備計画の全体見直しを行っている。農業振興地域整備計画の変更には県知事の同意が必要であり、ハードルは高い。除外については、具体的な土地利用計画があるなどの要件を満たした場合に可能で、申出があれば個別に対応していきたい。

論点	厚陽保育園の駐車場については、誘導のため道路に白線を引いたままの状態では危険度は変わっていない。抜本的な考えについて問う。
回答	少しでも安全な駐車、送迎ができるようラインを引くなどの安全対策をとっていたが、最近は周辺の方の理解を頂くなど約10台分の駐車スペースを確保している。しかし、十分であるとは思っておらず、スピード感をもって、今後も継続的に検討していく。

論点	老朽化が著しい厚陽公民館について、今後の施設の具体的な方向性は協議されているか。
----	--

回答	厚陽公民館は公民館としての機能だけでなく、様々な役割をもつ地域の重要な拠点施設となっていることは認識している。建物も設備も老朽化が著しい状態で、市の個別施設計画案では建て替えまたは複合化としており、今後地元と十分協議を進め検討していく。
----	--